

職員の皆さん、新年おめでとうございます。本日より仕事始めとなりました。

ご健勝にて、新しい年をお迎えのことと思います。また、この年末年始にもお仕事に従事された職員の皆様には心より感謝を申し上げます。

市政の最重要課題である可燃ごみの処理につきましては、広域支援により滞りなく処理することができております。また、新可燃ごみ処理施設につきましては、平成32年度の本格稼働に向けて、浅川清流環境組合において着々と事業が進められています。新年を迎えるにあたり、多摩地域各団体の施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。ごみの減量と資源化の推進は、市民の皆様と相互に協力し、継続的かつ積極的に取り組んで参ります。

職員の皆さんは、年末年始の6日間、しっかりとリフレッシュできましたでしょうか。私の元日は、雲一つないすみきった空、穏やかな天候のもと、くじら山でのラジオ体操と初日の出となる太陽を拝むことから始まり、市内での初詣、小金井公園での元旦ロードレース、武蔵小金井駅でのうるう秒を共有するイベント等々からスタートしました。元日より、たくさんの方々と挨拶を交わし、多くの笑顔に出会うことができました。今年の元旦には、午前9時がうるう秒ということで、1月1日、午前8時59分60秒という時が刻まれ、武蔵小金井駅やNICT（国立研究開発法人 情報通信研究機構）には多くの市民が訪れ、ネットニュース等のメディアにも多く紹介されました。時が生まれるまち小金井としての魅力を実感することができました。また、昨年末のクリスマスや正月三賀日の祝日に婚姻届を出された市民の方々が22組もいらしたそうです。とても心温まる事象と感じています。さらに、本年1月1日現在の人口は119,359人、世帯数は58,829世帯となりました。今年中には、小金井ではじめてとなる人口12万人台を超える見通しです。

2017年、平成29年という年を、職員の皆さんとともに、小金井の未来につなげていく意義のある年にしてまいりたいと決意しています。

昨年末の庁内放送では、市長就任1年間の思いも含めて、年末の挨拶を申し述べました。その内容は職員の皆様に配信されていますので、あらためてよく認識して下さい。私は小金井市の未来のために、持続可能なまちとなるために、「誇りの持てる、住み続けたいと願われる、市民の力や地域の力がもっと活かされる小金井」を目指していきます。その為にも、今年は、安定的な可燃ごみ処理体制の確立、グランドデザインに向けた対話の推進、真の行財政改革、庁舎・福祉会館・清掃関連施設等の老朽化した公共施設の整備、賑わいある駅周辺まちづくりの推進、子育て環境日本一・共生社会・高齢者を支える地域包括ケアシステムをめざした福祉の増進、地域が命を守る防犯・防災対策等の課題への取り組みを加速度的に前進させ、変革の年にしたいと思います。特に、先の定例会で竣工目標を平成33年度（オリンピックの翌年となる2021年度）と定めた新庁舎及び新福祉会館の建設、そして市民参加による検討や協議がスタートした不燃系ごみの清掃関連施設の再整備に関しては、小金井市が選択すべき最良の方策を確立し、今年こそが完全解決を成し遂げるための元年としなければなりません。そして選ばれるまち小金井を実現するための新たな行財政改革プラン2020への取り組みが実践される元年としなければなりません。市政の長年の課題に終止符を打つためには、一人一人の自覚が連帯し、庁内一丸となることが求められております。私とその先頭に立つ決意、全ての責任は私が負う決意は今後も変わることはありません。

市長に就任させていただき2年目を迎える私の方針、具体的な取り組み等に関しましては、職員の皆さんと英知を結集し、今月中旬にもまとめる平成29年度施政方針の中であきらかにして参ります。

さて、2020年には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。今年4月1日からの1週間、「東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」の一環として、小金井市にその二つの旗が届けられる予定です。小金井市では丁度、小金井公園でのさくら祭りが開催されている時期です。これを機に、小金井らしいレガシーを残せるよう、市民の皆様、職員の皆さんとともに未来につなぐ取り組みをしたいと考えています。職員の皆さんも大いに知恵を絞っていただきたいと思っております。

西岡市政の基本は「対話」です。私自身のみならず、職員の皆様にも同じ基本姿勢で臨んでいただきます。皆様も積極的に地域に出て、小金井市の取り組みやまちの魅力を市内外に積極的に発信しつつ、市民の皆様の率直な声に耳を傾け、その声を市政に反映できるよう、引き続き、最大限の努力をして下さい。

「継承継続すべき、見直すべき、新たに取り組むべき3つの視点からの仕分け意識」を常に保持しつつ、市役所が「市民の役に立つところ」、「市内最大のサービス事業所」と呼ばれ、市民みんなが笑顔で暮らせるまちを目指し、小金井の未来へ向けて、全庁一丸となって取り組んでいきましょう。

結びに、本年が小金井市のさらなる発展と、市民そして職員の皆さんにとって、昨年よりも輝かしい、幸多い年となることを祈念し、年頭の挨拶とします。

本年もくれぐれも健康には留意して、お互いに奮闘していきましょう。

以上です。